



# 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

## THE KOHO



10月

Vol. 10.2013.

通巻 No. 334

第 261 号

### 巻 頭 言

#### [技 術]

理学療法は身体の機能障害を改善させるための治療技術である。その技術を提供し、対象者の健康に役立てることを業としている。技術を上達させようと、研修会や講習会、研究会や学会へ参加し研鑽に励む理学療法士は少なくないであろう。しかし、多種多様な会へ参加することで、技術は上達したのだろうか？ 技術を上達させるためには、どうしたらよいのか？ 村松恒平氏著書「書く人」にその、疑問を解く手掛かりを見出した。

「技術とは、もともと個人的なもの。もちろん、ある職業人が共有している水準はある。技術は、個人の経験や能力に属し、個人が磨き、個人が保持するもので、必要な場面で実情に合わせて使用される。使用されるTPO(時間、場所、場合)が極端に限定されるため、一般則としてリストアップしにくい性質をもつ。技術は、マニュアルには、もう書いていないレベルに遭遇した時、教科書の通りではうまくいかない時、激しく前進しようとした結果、現れてくる障害と戦う時など、個人が必死になって制御しようとした時に技術というものがうまれてくる。技術を上達させる本質は、まず、自分が表現する。それに対して、世界(他人)の反応(断片的なもの、鏡のかけらに映った自分みたいなもの)が返ってくる。このプロセスを繰り返すことにより、次第に主観(自分が世界をどうみるか)と客観(世界が自分をどうみるか)との乖離のより少ない視点を獲得していくことである。」と述べられている。技術を上達させる本質を理学療法に置き換えると、療法士が推論に基づいたアプローチを対象者へ行い、それに対する対象者の反応(結果)を受け取る。このプロセスを繰り返すことで、次第に療法士の推論と対象者の結果との乖離のより少ない視点(理論)を獲得していくことが上達する本質と置き換えられる。多種多様な会へ参加することは、上達の本質ではないことを示唆しているようだ。

技術を上達させるには、療法士の推論に基づいたアプローチと対象者の反応を前提とした臨床の場において、療法士自身が見出していくことが必要なかもしれない。

教育學術局長 古堅貞則

### INDEX

巻頭言 .....	P1	高校野球秋季大会サポート事前講習会 .....	P6
認定・専門理学療法士のススメ .....	P2	会員活動報告 .....	P6~8
あの声 この声 .....	P3	理事会報告 .....	P8・9
第3回県民健康フェア .....	P3・4	事務局便り .....	P10
コラム .....	P4	学術局便り .....	P10~12
第1回沖縄理学療法講習会 .....	P5	沖縄県理学療法士協会主催講習会 .....	P12
第2回沖縄理学療法講習会 .....	P5	他団体主催講習会 .....	P12~14
訪問リハビリテーション推進部勉強会 .....	P5	広報部便り .....	P14

発行:公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 事務所

〒904-0032 沖縄県沖縄市諸見里1丁目4号22番301号 TEL&FAX:098-930-5023

URL <http://www.oki-pt.jp/> E-mail: [optaoffice@yahoo.co.jp](mailto:optaoffice@yahoo.co.jp)





# 認定・専門理学療法士のススメ

## 専門理学療法士に聞く!!

会員の皆様に「認定・専門理学療法士」をより身近に、そして目指す目標として意識してもらえるように認定理学療法士・専門理学療法士の会員へインタビューしました。今回は大浜第二病院に勤務している座波信司会員です。専門分野だけでなく、スポーツの分野など活動は多岐にわたり、当協会でも様々な分野で活躍されています。とてもエネルギーが豊富でパワフルな活動に圧倒されるばかりです。（インタビュー：事務局 城間）



**座波信司**（ざはしんじ） 41歳（復帰っ子） 大浜第二病院 勤務

専門種：生活環境支援系

趣味：スポーツ観戦 座右の銘：一生懸命 出身地：那覇市

所属研究会

おもと会地域リハビリテーション支援センター・沖縄県回復期リハビリテーション病棟連絡協議会・沖縄県慢性期療養病床協会リハ部会・沖縄県理学療法士協会スポーツ事業部・沖縄県体育協会トレーナー部会・沖縄アスレティックトレーナー協議会・日本体育協会公認アスレティックトレーナー

### [インタビュー]

#### Q. 理学療法士を目指したのは。

高校2年の夏の終わり……。部活のチームメイトが入院してリハビリをやっているという話を聞いたことや祖父が入院してリハを受けるところを遠くから見た経験がきっかけですね。この2つの出来事と学校の保健体育の事業で理学療法士の名前を聞いた！（運命的な出会い）それからです。その頃は全国的にも大学はなく短大か専門学校しかなかった。沖縄にも沖リハができたばかりだった。



#### Q. 理学療法士になったのは。

沖縄リハビリテーション福祉学院の3期生として卒業し、平成7年度入職しました。勤務先はおもと会大浜第一病院で経験年数は19年目になります。

#### Q. 専門理学療法士を目指したきっかけは。専門理学療法士になるまでの経過。

日本理学療法士協会誌を読んで、これまでの自分の実績を振り返ってみたら、たまたま条件がそろっていた。（領収書や受講証明書などきちんと保管できていた！）条件がそろっていることを知った時は、「いろいろやってきたな～」というのと「やったあ！！ラッキー」という感じです。コツコツと勉強会へ出かけたり、協会（旧士会）行事への参加協力や学会の参加・発表、勉強会の企画運営、いろいろな会議への参加を続けてよかったと専門の証書が届いた時に思いました。

#### Q. 専門理学療法士になって良かったこと。現在、活躍できる環境。

まだ専門をとったからといって具体的な活動を行えている実感はありません。正直理学療法士になりたての頃は「生活環境支援系」の専門になることは考えていなかったが、この専門をとった自信が、現在の回復期リハ病棟や慢性期・訪問リハ・地域リハに関わることができていると思います。

#### Q. これからの目標。

今後は生活環境支援系という専門理学療法士としては予防の分野に関わっていけるような活動をしたいです。しかし、1つの専門領域だけを意識しないで、患者様や利用者の皆様の力になれる専門家を目指したいです。そのために他の専門にも挑戦し、認定理学療法士の取得についても取り組んでいきます。運動器とスポーツの認定がほしいー！！



#### Q. これから専門理学療法士を目指す会員へエール。

今後、理学療法士の世界はより他の職種との競合が起こってくると思うので、自分自身でスキルを高めるのはもちろん必要だと思います。その中で専門団体が認めた資格が必要になってくることも考えられるので専門の取得は必須だと思います。また自分の理学療法士としての努力の証としてモチベーションを高める1つのツールになるのでお互いがんばりましょう！

認定・専門理学療法士制度

詳しくは→[http://www.japanpt.or.jp/04\\_for\\_pt/system.html](http://www.japanpt.or.jp/04_for_pt/system.html)



## あの声、この声 理学療法士の活躍

### ～再び走り出すことに向けて！～

氏名：津堅門大也(つけんじょうひろや) 24歳

所属：沖縄リハビリテーションセンター病院

2013年4月7日に『あやはしロードレース大会』が開催されました。琉球新報にも掲載されましたが、そこに脳卒中で発症した左片麻痺の障害を乗り越え、退院から1年後に3.8kmのコースを入院時の担当セラピストとともに完走した方がいらっしゃいます。今回はその方をサポートした理学療法士を紹介します。(インタビュー：広報部 平)

#### Q: 『あやはしロードレース大会』に参加することになったきっかけは？

A: 元々本人の趣味がマラソンや空手だったということがあります。入院当初は車いすレベルでありました。当初は「もう一度走りたい」という希望は困難であると思いましたが、屋内歩行、屋外歩行と獲得していくに従って本人の趣味であるマラソンにむけてアプローチするようになりました。

#### Q: マラソンに向けて入院中はどのような取り組みを行なっていましたか？

A: 理学療法だけではなく、担当チームでアプローチしていきました。理学療法では院外をジョギングにて1周することから始め、徐々に距離を伸ばしていきました。1km走ってタイムを計測もしました。作業療法ではもう一つの趣味である空手に着目し握力や足腰の強化等を行い、言語療法では屋外の環境に対応できるように注意力の向上などにアプローチしていきました。本人もかなりやる気があり、自主トレも積極的に行っていました。

#### Q: マラソン本番で気を付けたことなどありますか？

A: 既往歴に高血圧があったのでレースが始まる前やレース中に何度か血圧測定を行いました。また転倒予防にも配慮して最後尾からスタートし、レース中は担当セラピストで本人の周りを囲むように走りました。

#### Q: 今回、マラソン大会に参加して良かったなと思う点はありますか？

A: 入院当初、本人の目標は歩く事がでしたが、機能が向上するにつれて目標も広がっていき、本人からもやりたい事をどんどん言ってくれるようになって、それを実現できた点は非常に良かったと思います。

#### Q: 今回のマラソンに参加して他に伝えていことはありますか？

A: 今後も目標を立ててそれを達成した後、さらにもう1歩、2歩進んだ目標に向かってリハビリテーションを提供できたら良いと思います。また、退院後も交流を持ち、何かしらサポート出来たら良いと思います。

## 第3回 県民健康フェア2013

平成25年8月18日にコンベンションセンター展示場で『第3回 県民健康フェア』が開催されました。県民の医療・保健分野に関わる18団体が参加、各職種が専門性を紹介する機会となりました。沖縄県理学療法士協会では会場設営から運営に約20名のスタッフが携わりフェアを盛り上げました。そこで、フェアに参加された一般の方の声を聞く事ができたのでご紹介します。(広報部)



会場の展示棟

### <一般参加者の感想>

#### 70代女性 (理学療法体験コーナーに参加)

「体がとっても軽くなりました！普段テレビで色々見ながら勉強はしているのですが、なかなか一人ではやらないね～。みんなでやると顔と体が一緒に動いて楽しいね～♪この年齢になると家では運動はおっくうでね…わかってはいたけど、やっぱり運動は大事だね！」

#### 40代男性

「私はバングラディッシュからJICAのトレーニングで沖縄に来ています。日本や沖縄の医療は私達の国にはないシステムや技術がたくさんあって、勉強になります。私は日本語が得意ではないので、表示されている意味は分からないのですが、見ているだけでも日本の技術の高さが分かります。JICAでのトレーニング中に色々学んで国に持ち帰りたいと思います！」



沖縄県理学療法士協会ブース

### <運営スタッフの感想>

県民健康フェアでは、沖縄の芸人『ゆーりきや〜』が各ブースを回り、長所を活かしたパネル展示や健康相談、体操などに参加し、わかりやすく説明していました。PT・OT・STの共同ブースでも自助具の説明や転倒予防体操を参加者と一緒に楽しく行うことができました。今回のイベントを経験して、様々な職種を知ることができ貴重な体験だったと思います。今後も様々なイベントに参加し、自分自身の視野を広げていきたいと感じました。

(宜野湾記念病院 瀬名波 臣史)



「ゆーりきや〜」も来ました。

今回初めて県民健康フェアに参加し、医療従事者が集いそれぞれの職種を紹介しながら色々な体験を県民の方々に提供する素晴らしいイベントだと感じました。フェア開始直後は他のブースに比べ静かなPTのブースでしたが、足指体操を行い、時間が経つにつれ人が増えていき最後は大盛況でした。今回フェアを通して、一般の方々の「理学療法士」という職種の認知度の低さを痛感しました。今後多くの人に理学療法士の存在が知れ渡り、理学療法を提供出来るように、今回のようなイベントや先日行なわれたPTフェアなどを積極的に参加していく必要があると感じました。

(宜野湾記念病院 上間航之介)



参加スタッフ

## Column-3



こんにちは。6月号より2か月に1度、水泳コラムを掲載させて頂いています沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター理学療法士の喜瀬真雄です。

第3回目の今回は、まず前回のコラムで告知しました日本選手権大会での沖縄県選手団の活躍について紹介します。去る9月14・15日に兵庫県、神戸市立ポートアイランドス

ポーツセンター・プールで第30回日本身体障がい者水泳選手権大会が開催されました。そこで沖縄県選手団の一員である国頭藍子選手が女子100m平泳ぎ(クラスSB6)で大会新記録を出し優勝しました。本当におめでとうございます。2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催も決定し、彼女の将来が非常に楽しみです。来年6月に沖縄で開催される九州身体障害者水泳選手権大会での泳ぎにも期待しています。

次に、前回に引き続きチーム紹介をさせていただきます。今回のチームは南風原町で練習を行っています『寿ディサービス』。『ディサービス』という言葉でお気づきの方もいらっしゃると思いますが、このチームはリハビリ・ディサービスの一環で水泳を行っています。練習は月曜日から土曜日の週6日、1回1時間程度。昨年よりその成果を発揮するため大会に出場しています。障害者水泳はジュニアやマスターズなどの区分はなく、年齢を問わず大会に出場できることから今後も寿ディサービスの選手の皆様の活躍を期待しています。



寿ディサービスのメンバー

さて、8月より沖縄県障がい者スポーツ協会主催のスイミングキャンプという水泳教室も始まりました(10月、12月、来年1月と開催予定)。8月の水泳教室には当コラムを読んで頂いたOTの先生より選手紹介がありました。そして水泳教室に参加して頂きました。本人もとても楽しかったとのことで10月の教室にも参加されるそうです。今回のようにリハビリ専門職の繋がりの中で選手を発掘できたら良いと感じています。こちらの水泳教室に興味をお持ちの方も是非ご連絡下さい。開催場所は西崎特別支援学校プールもしくは金武町営プールが予定されています。

次回のコラムは12月掲載予定です。その中では水泳教室の様子や障害者水泳の組織・対象・選手の育成過程・ルールや理学療法士の役割を少しづつお伝えしていきたいと思っています。

このコラムは来年6月に沖縄県で開催される九州身体障害者水泳選手権大会への参加選手発掘も目的の一つです。皆様が臨床で診ている患者さんの中に水泳に興味がある方または勧めたい方がいましたら下記E-mailアドレスまでご連絡頂けたら幸いです。

詳しくは以下のホームページを参照下さい。IPC swimming [www.paralympic.org/Swimming](http://www.paralympic.org/Swimming)  
日本身体障害者水泳連盟 [paraswim.jp](http://paraswim.jp) 九州身体障害者水泳連盟 [www.geocities.jp/kyushu\\_syougai/](http://www.geocities.jp/kyushu_syougai/)

お問い合わせ : E-mail: [sea9518@yahoo.co.jp](mailto:sea9518@yahoo.co.jp) (喜瀬 真雄)

## 第1回沖縄理学療法講習会

平成25年9月1日に嘉手納中央公民館にて第1回沖縄理学療法講習会が開催されました。講師は高橋仁美先生をお招きし、呼吸リハビリテーションについてご講演して頂きました。今年度の沖縄理学療法講習会第1弾ということで多くの会員が参加しました。（取材：宮里）

### 横山由衣（沖縄リハビリテーションセンター病院）

私は今回、呼吸リハビリテーション～慢性閉塞性肺疾患（COPD）における低強度運動療法～の講演会に参加させていただきました。最近テレビ等でもCOPDの特集が多くあっているほど世間でもよく耳にする疾患になってきていますが、COPDという疾患に対しての治療方法を今まで詳しく知ることができませんでした。今回、講演会に参加し、この疾患の基礎知識・治療方法を映像や実技等で確認しながら行うことで楽しく学ぶことができました。今まで呼吸リハと聞くと自分の中で苦手な分野だと思っていたのですが、講師の高橋先生の面白い講演会のおかげで呼吸リハに対する興味が大きくなりました。今後、呼吸リハに対する重要性が更に高まってくると思うのでもっと勉強していきたいと思うようになりました。



### 松並 健治（宜野湾記念病院）

今回、第1回沖縄理学療法講習会「呼吸リハビリテーション」～慢性閉塞性肺疾患（COPD）における低強度運動療法～に参加させていただきました。

私は3年ほど通所リハビリ勤めていますが、COPDの利用者様が数人おり呼吸リハビリテーションを希望される方もいます。通所リハビリではリハビリ介入時間が20分程度の短時間となるため、リラクゼーションや呼吸練習などのコンディショニングが中心となっていました。今回の講習会にて運動療法の必要性が再確認できました。今後の臨床において、利用者様の状態に合わせて低強度の運動療法を実施することで、効果的なリハビリを継続して提供できるように努めていきたいと思えます。



## 第2回沖縄理学療法講習会



今回、平成25年9月15日に第2回沖縄県理学療法講習会が開催されました。『下肢関節疾患の理学療法～股関節を中心に～』というテーマで、広瀬整形外科リウマチ科の永井聡先生より股関節の解剖と整形疾患に対するアプローチ方法を講義と実技を踏まえてご教授頂きました。画像所見から病態の予想を行う事で、実際に患者さんをみる前に大まかな疼痛部位の把握やアプローチ方法の選択ができ、ストレッチポールやキャスター椅子を用いてのホームプログラムの指導等も学ぶ事が出来ました。

今回の講習会の参加者は約200名で、経験年数も数年目～何十年目のベテランまで多岐にわたっており、全員が「股関節」という1つのテーマに関して学習、また興味を持つよい機会になったと思えます。参加者の中には普段小児施設で勤務されている方もいました。今回の講習会参加の目的として、始めは“今後の為…”と不透明な感じでしたが、講習会後は、“脱臼肢位や画像の見方など勉強になる部分が多かった”と興味を持った様子で、笑顔で応えてくれました。



## 訪問リハビリテーション推進部講習会



今回の勉強会のテーマが「難病の利用者様に関わる保健師の役割～保健師からリハビリとの関わり、新制度、障害者総合支援法を学ぶ～」であり、講師として南部保健所 地域保健班の伊禮氏に講演していただきました。今回は作業療法士会、言語聴覚士会共同の勉強会であり40名近くの参加者でした。講演では大まかな保健所、保健師の役割についての説明があり、その中に難病患者との関わりがあることを伝えていました。講演の中で、難病を患った方々との関わりの中で訪問リハの存在が大きいという印象を受けました。疾患の知識や予

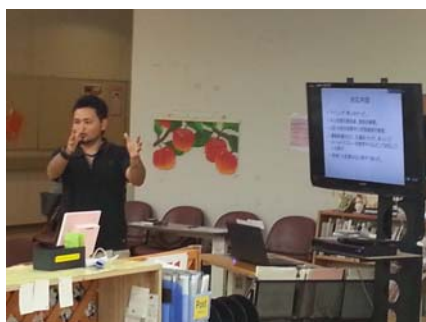
後予測、福祉用具の選定など知識を持ったリハスタッフから家族への声掛け、他職種への働きかけのきっかけを作っていきたいという気持ちが伝わり、それだけの知識が私たちに求められているのだと感じました。（取材：宮城）



## 高校野球秋季大会サポート 事前講習会

高江洲 昌太 (スポーツ事業部・沖縄リハビリテーションセンター病院)

去る平成25年8月23日(金)、沖縄県秋季高校野球大会に向け医療サポート事前講習会が沖縄リハビリテーションセンター病院にて行われました。参加者は19名で、講師は浦添総合病院の米須清倫先生と大浜第二病院の座波信司先生で、講義内容としては先日行われた第95回全国高等学校野球選手権記念沖縄大会での事例報告・検討会を行い、次に熱中症やRICE処置についての勉強会を行いました。事例検討会では、実際の現場に立ち会ったと仮定し、グループでのディスカッションを行い、活発な討議が行われました。準備や応急処置、そして競技ルールを踏まえた上での対応も聞くことができ、リアリティーのある検討会になり、秋季大会に向けての励みになりました。事例報告会の後は、熱中症やRICEの対応や処置の方法について学び、一層基礎知識の重要性に気付くことができました。



横山由衣 (沖縄リハビリテーションセンター病院)

今回、初めてスポーツ事業部の講習会に参加させて頂きました。内容は夏季大会サポートを終えての事例報告・検討会ということで、夏季大会中に起こった出来事をどのように対応していく必要があるのか各グループに分かれ、各々の意見を出し合いながらその場でできる対応法を考えました。グループで意見を出し合うことで多数の考えを共有することができ、その中でもどの方法が1番最適なのか検討することができました。また、実際に夏季大会でどのような対応法を取ったのかを知ることで、その現場での最適な対処法を学ぶことができました。多くの意見や考え方・対処法をいろんな目線

から考えていくことで秋季大会サポートに向けての応急処置方法を知ることができました。今回この取り組みに参加することで今後の高校野球のサポートを積極的に参加していきたいと強く思いました。

### <理学療法士医療サポーター募集中> 申し込み先: [okinawa2010ih@yahoo.co.jp](mailto:okinawa2010ih@yahoo.co.jp)

第133回九州地区高等学校野球大会 沖縄県開催第42回九州地区高等学校軟式野球大会 (同時開催)

大会期間: 10月26日(土) ~ 10月31日(木) 上位4校は、第86回選抜高等学校野球大会への選考濃厚

沖縄県代表 沖縄県秋季大会 優勝・準優勝・3位・4位 計4校出場

サポート参加希望・問い合わせは、下記のスポーツ事業部員へ連絡ください。

問い合わせ: 米須清倫 (浦添総合病院) 牧門武善 (与勝病院) 座波信司 (大浜第二病院)

楠木力 (沖縄リハビリセンター病院) 高橋啓輔 (ちゅうざん病院)

## 宮古ブロック 新人歓迎会

## 会員活動紹介



県立宮古病院 宮城友菜・川満賢二  
南部ブロックから宮古ブロックへ移動し、歓迎会に参加しました。本島と比べ理学療法士の在職人数が少なく、少人数での歓迎会となりましたが、沖縄県理学療法士協会 理事 (役職・名前など記載の修正をお願いします) 玉城先生の来訪もあり、楽しい会となりました。今回参加された先生方はとても熱心な方ばかりで、宮古島の理学療法士のやる気を感じることができました。また、長年宮古島で働いている先輩方から地元なら

ではの話などを聞くことができ、有意義な情報交換ができたと感じています。宮古ブロックの発展に貢献していけるようにがんばって生きたいと思えます。

## 新人教育プログラム in宮古ブロック

## 会員活動紹介



県立宮古病院 武富志穂  
今回、平成25年度新人研修会に参加させて頂きました。初めての研修で緊張しましたが、理学療法士として働いていく中で必要な講義を学ぶことが出来ました。また、離島ということで、数名の参加者であり、より講師との距離も近いので、理解を深めることが出来ました。これからも勉強会や講習

会、ブロック活動にも積極的に参加して知識や技術を身に付けていこうと思えました。また、臨床では必要とされることは多く、まだまだ分からない事が多くありますので、先輩方のアドバイスをいただきながら日々成長していきたいと思えます。

## 八重山ブロック 新人歓迎会

## 会員活動紹介



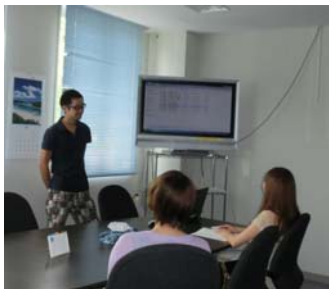
本間 昌大（八重山ブロック長）  
2013年8月18日に八重山ブロックの新人異動会員歓迎会を開催しました。今年の内容はグラウンドゴルフ&ホテルディナービュッフェで、当日は開催直前まで雨が心配されましたが、無事に雨は止んでくれて楽しくプレーができました。来年度も楽しい企画で開催したいと思いますので、ブロック会員の方は是非ご参加下さい。



古賀 美順（県立八重山病院）  
8月18日(日) に石垣市内のホテルにて新人・異動会員歓迎会に参加させて頂きました。私自身4月に八重山地区に移動し、なかなか他病院や施設の方と交流する機会が少なかったのですが、今回の食事会では患者様の情報交換など様々な話ができて有意義な時間でした。今後も、月1回の勉強会や活動にも積極的に参加していきたいと思っております。

## 新人教育プログラム in 八重山ブロック

## 会員活動紹介



本間 昌大（八重山ブロック長）  
2013年8月17～18日にかりゆし病院で八重山ブロック新人教育プログラム選択研修を開催しました。受講対象者が少なく、殆どの講義が受講者・講師とのマンツーマンという形でしたが、対話も交えながらのこじんまりした雰囲気も離島ブロックならではの悪くないものだと思います。

石垣 司（かりゆし病院）  
今回、症例報告・発表の仕方を受講させて頂きました。学生の頃に学会等へ参加し諸先輩方の症例報告や発表を見学させて頂きましたが、今回、症例検討の意義や発表の形式について初めて学ぶことが多くありました。症例報告を行うことで個々の理学療法士としてのレベル（理学療法に対する知識・技術）の向上に繋がることや講師の先生の体験談を聞きながら症例報告・発表を行う事の大切さや大変さを学習できました。今後、機会があれば学会等への参加を含め臨床にも繋がるような症例報告の勉強をして発表を行えるように日々精進して行きたいと思っております。

## 八重山リハビリテーション勉強会

## 会員活動紹介



本間 昌大（八重山ブロック長）  
2013年8月23日18:30の日時で、かりゆし病院にて八重山リハビリテーション勉強会を開催しました。今回は、先月の八重山地区高校野球新人大会の医療サポートの報告と、今後の医療サポートの質の向上のために野球の競技特性と野球に多い障害を中心に実施しました。

國仲 麻希子（かりゆし病院）  
今回、「高校野球サポートのための基礎知識」をテーマに野球特有の姿勢やそれに伴って起こりやすい障害について勉強する機会を頂きました。今年度から八重山地区高野連主催の野球大会において八重山ブロックでもサポート活動に取り組んでいますが、正直野球の経験がない私からすると中々イメージが出来ない分野でもありました。ある程度のフォームや特徴的な障害は想像出来ても解剖学的な面、運動力学的な側面から統合的に解釈することが難しいと考えていましたが、今回の勉強会では画像やイラスト、実際の実技も少し交えながらご講義頂きとても有意義な時間となりました。今回学んだことを通して、今後の活動の糧に出来たらと思います。

## 八重山リハビリテーション勉強会

## 会員活動紹介

本間 昌大（八重山ブロック長）  
2013年8月24～日25に石垣市中央運動公園野球場にて八重山地区高校野球秋季大会が開催され、八重山ブロックで医療サポートを実施しました。八重山地区は3高校しかなく地区大会はリーグ戦を2順するという内容なので、選手との関わりは県大会よりも深くなります。スポーツの場で我々理学療法の視点・知識・技術が活かせる余地は大いにあると思っておりますので、ブロック会員の積極的な参加をお待ちしています。



**Q1 国際支援部とは?**

A1 沖縄県理学療法士協会社会機能局の国際支援部からなり、国際協力の一環として各国から理学療法士に関わる協力依頼に対応し援助します。対象国のニーズに合わせた多様な活動を展開できればと思います。また、国際協力を通じた県民への理学療法士の啓蒙活動、また会員への国際協力への理解を含め、各国の理学療法士に関わる情報共有を行います。

**Q2 現在、どのような活動を展開していますか?**

A1 JICA草の根技術協力事業のフィジー人理学療法士沖縄研修フェーズⅡ(沖縄・フィジー リハビリテーションアイランドプロジェクト:仮名)の採択内定を受け、来年度4月に開始予定となっています。今後、フィジー側の保健省上層部と交渉を行い、案件合意に向けて動いていきます。

A2 国際交流フェスティバルが11月9日、10日に開催されます。一般の方や外国人、各国の留学生へ沖縄県理学療法士協会の役割、海外活動の紹介を行っていきます。国際支援部以外でも協力出来る方を随時募集しております。

**Q3 今後の展望(活動)はどのようになっていますか?**

A1 現在は、フィジーへの活動が主になっていますが、今後はこの研修内容を軸にして他国への国際支援にも対応していきたいと思っています。

A2 医療英語や他の言語、英文抄録について勉強会を考えています。



国際支援部部長 喜屋武龍介 ([ryusukekyan@hotmail.co.jp](mailto:ryusukekyan@hotmail.co.jp))

副部長 比嘉つな岐 ([naki.viti@hotmail.co.jp](mailto:naki.viti@hotmail.co.jp))

**理事会報告**

[平成25年度第6回 理事会] ☆詳細については当会ホームページを参照してください。

日時:平成25年9月11日(水)19:00~21:30 場所: 翔南病院会議室 (〒904-0034沖縄県沖縄市山内3-14-28)

[審議事項]

第1号議案 入会の承認に関する件(事務局)

議案内容	<b>【入会申請者】</b> 申請用紙からの申請…0件 ②HPからの申請…2件 計2件 <b>【会員動向】</b> 平成25年9月11日現在 会員数:1348名 施設所属会員数:1232名 自宅会員数116名 会員所属施設数:234施設 [期間会員動向]平成25年8月15日~9月11日 異動:7名(県内:7名 転入:0名 転出:0名) 休会:0名 退会:0名 復会:0名	
審議結果	1名は以前入会していた際の会費納入状況を確認してから承認。 残り1名は承認。	
	担当局:事務局	担当部:総務部

第2号議案 災害リハビリテーション・コーディネーター研修会参加担当者について(池城会長)

議案内容	都道府県ごとに自身の地域で起こりうる災害を想定した体制を事前に計画策定していくこと、被災地域において行政・医療機関と共同して災害リハビリテーションチーム支援を行うこと、さらにはコーディネーターとしての役割を担える人材の育成を目指しております。このため、本研修会は都道府県ごとに医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、介護支援専門員、義肢装具士、災害対策等の行政職員、を含めた多職種(8名)のチームを編成するために本協会より公募した理学療法士の適任者かの確認と承認をお願いする。尚、立候補が不在の場合には理事会より推薦をお願いする。	
審議結果	伊波成恭会員を全会一致で承認。	
	担当局:会長	

第3号議案 選挙管理運営委員の選出について(池城会長)

議案内容	平成26年に日本理学療法士協会代議員選挙が予定されております。代議員選挙では都道府県理学療法士会にて選出いただいた47名の選挙管理運営委員の中から選挙管理委員5名を選出し、その運営にあたる事が選挙規程に明記されております。よって、当協会より、選挙管理運営委員を選出について推薦の承認をお願いする。	
審議結果	全会一致で承認。推薦者:牧門武善	
	担当局:会長	

第4号議案 平成25年度沖縄県医事功労者知事表彰候補者の推薦について(事務局)



議案内容	沖縄県福祉保健部より「平成25年度沖縄県医事功労者知事表彰候補者の推薦について」推薦の依頼が届いています。ご検討宜しくお願い致します。	
審議結果	推薦無し。表彰審査委員の選定方法について、今後、基準を設ける予定。	
	担当局：事務局	担当部：

第5号議案 第45回沖縄県公衆衛生大会における県知事表彰候補者の推薦について（事務局）

議案内容	沖縄県および沖縄県公衆衛生協会より、第45回沖縄県公衆衛生大会における県知事表彰候補者の推薦について依頼が届いています。ご検討よろしくお願い致します。	
審議結果	推薦者無し。表彰審査委員の選定方法について、今後、基準を設ける予定。	
	担当局：事務局	担当部：

第6号議案 中部地区医師会 記念式典・祝賀会について（事務局）

議案内容	中部地区医師会より、下記 記念式典・祝賀会のご案内が届いています。 中部地区医師会設立六十周年・健診センター開設二十五周年・ぐしかわ看護専門学校創立五周年。出席の可否についてご検討よろしくお願い致します。	
審議結果	参加者日程調整困難。欠席。	
	担当局：	

第7号議案 佐賀県理学療法士会 公益社団法人移行記念祝賀会について（事務局）

議案内容	佐賀県理学療法士会より、公益社団法人移行記念祝賀会の案内が届いています。出席の可否についてご検討よろしくお願い致します。	
審議結果	欠席。祝電と記念品で対応予定。	
	担当局：事務局	担当部：

第8号議案 健康づくり支援事業「リーダー養成講習会」での講師推薦依頼について（事務局）

議案内容	沖縄県老人クラブ連合会より、健康づくり支援事業「リーダー養成講習会」での講師推薦依頼について依頼が届いています。推薦の選出を宜しくお願い致します。	
審議結果	①派遣有り。②選出については、社会機能局と宮古ブロックで調整予定。	
	担当局：社会機能局・宮古ブロック	担当部：

第9号議案 熊本県理学療法士協会 法人移行記念講演会・祝賀会について（事務局）

議案内容	熊本県理学療法士協会より、法人移行記念講演会・祝賀会について案内が届いています。出席の可否についてご検討よろしくお願い致します。	
審議結果	欠席。祝電と記念品で対応予定。	
	担当局：事務局	担当部：

第10号議案 平成26年春の外国人叙勲候補者の推薦について（事務局）

議案内容	沖縄県より、平成26年春の外国人叙勲候補者の推薦について推薦の依頼が届いています。推薦についてご検討宜しくお願い致します。	
審議結果	推薦者無し。	
	担当局：	担当部：

第11号議案 第10回ヘルシーソサエティ賞候補者の推薦について

議案内容	ジョンソン・エンド・ジョンソン・グループ ビジョンケアカンパニーより、沖縄県を通して、第10回ヘルシーソサエティ賞候補者の推薦について推薦の依頼が届いています。推薦についてご検討宜しくお願い致します。	
審議結果	推薦者無し。	
	担当局：	担当部：

[報告事項]

1. 会長 ※月次活動報告
2. 副会長 ※月次活動報告・介護労働懇談会・平成25年度介護予防市町村支援委員会
3. 事務局 ※月次活動報告・H25 8/15～H25 9/11までの收受文書・発行文書表
4. 社会機能局 ※月次活動報告
  - ・県民健康フェア2013実績報告・理学療法フェア2013INイオン名護店・理学療法月間2013
5. 教育学術局 ※月次活動報告・新人研修会in宮古島（必須・選択）8/21・新人研修会in石垣（選択）8/21
  - ・新人研修会in宮古島（選択）8/26・第1回沖縄県理学療法講習会 9/7
6. 各種委員会[学術大会実行委員会]・第15回沖縄県理学療法学会 第8回会議  
 [表彰審査委員会]平成25年度（公社）沖縄県理学療法士協会 表彰委員会 優秀賞選定委員会

## 事務局便り

■■**要注意**■■異動申請 お手続きをお願いします！

勤務先、自宅、氏名など会員情報が変更になった際は、速やかに会員情報の変更申請をお願いします。お手続きは「マイページ」から、お早めをお願いいたします。

### 会費納入について

**※楽天カードへ入会していないと会費の引き落としができません。楽天カードの申込みを再度ご確認ください。**

楽天カードによるクレジット決済か口座振替となっております。両方に登録のない方へは協会本部よりコンビニ振込用紙が送付されています。支払期限を確認のうえ速やかに納入して下さい。領収書が必要な方は直接日本理学療法士協会 (FAX:03-5414-7913 E-mail:jpta@i.bekkoame.ne.jp) へお問合せ下さい。

### 会費に関する問合せ

沖縄県理学療法士協会財務担当理事: 運天智子

E-mail: [optazaimu@gmail.com](mailto:optazaimu@gmail.com)

## 沖縄県理学療法士協会スケジュール 2013年10月・11月・12月

<b>10月</b>	5・6日	第48回 全国学術研修大会(静岡)
	9日(水)	平成25年度第7回理事会
	13日(日)	第1回沖縄臨床理学療法研究会
	27日(日)	第3回沖縄理学療法講習会
	27日(日)	九州ブロック管理運営研修会(福岡)
<b>11月</b>	2日(土)	倫理担当者研修会(JPTA)
	9日(土)	九州ブロック現職者講習会(宮崎県)
	9・10日	国際協力・交流フェスティバル2013
	10日(日)	第15回沖縄県理学療法学会
	23・24日	第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会
<b>12月</b>	1日(日)	第4回沖縄理学療法講習会

## 教育学術局便り(研修部)

### 第3回 講習会 脳・神経系 理学療法スペシャリスト☆

運動学習や運動制御の理論、新しい脳科学の知見に基づいた、より有効な理学療法介入のヒントがここに!! 新たな視点を持ち、理学療法の展開力を身に付けよう。

講師: 潮見泰藏 (杏林大学大学院 保健学研究科 教授)

テーマ: 「脳卒中患者に対する機能的運動課題達成のための治療戦略」

日時: 平成25年10月27日(日) 10:00~13:00 ※定員に達し次第締切り致します

会場: 嘉手納中央公民館(定員150名)

締切: 10月13日(日)迄

備考: 生涯学習システム「単位読替えテーマ」と「ポイント」

・新人教育プログラム未修了者 → 読替えテーマ: C-1 神経系疾患の理学療法

・新人教育プログラム修了者 → 10ポイント

#### 【著書】

脳卒中の運動療法 (医学書院)      神経系理学療法実践マニュアル (文光堂)

脳卒中患者に対する標準的理学療法介入 (文光堂)      科学的根拠に基づく理学療法 (エリゼビア・ジャパン)

神経障害系理学療法学 (医歯薬出版)

### ■■沖縄理学療法講習会に関する説明事項■■

1. 理学療法士を含む医療従事者を対象とした講習会です。
2. 生涯学習システムの「単位読替え」や「ポイント付与」が認定された講習会です。  
※「日本糖尿病療養指導士」ポイント付与認定講習会です。
3. 講習会への参加を希望される方は、メールにてお申込みください。

【宛先】 [ptgaku@gmail.com](mailto:ptgaku@gmail.com)      【件名】 「第○回 沖縄理学療法講習会 申込み」

【記入事項】 ①会員番号、②氏名、③所属名、④メールアドレス、⑤職種(PT以外の職種)

※④個人設定により受信されない場合があります。個人設定についてご確認ください。

※⑤理学療法士以外の職種の方のみ、ご記入ください。

4. お申込み頂いた後に、担当者から受講可否の連絡を差し上げます。締切日までに連絡がない場合は、メールにてお問



い合わせください。

【問合せ先】 与那原中央病院リハビリテーション科(研修担当:平山良樹) TEL:098-945-8101/FAX:098-945-8106

5. 講習会へ参加される場合、「会員証」をお持ちいただくと受付の手続きが簡単になります。

6. 受講費は、会員2,000円、会員外3,000円です。

※両替作業の削減及び手続き時間が短縮化を図るため、「お釣りが無いように! 準備をお願いします。

7. 受付は、オリエンテーション後に行います。この方式で行うことで、受付・会計が円滑に行えます。

8. 生涯学習に関する質問やお問い合わせは、休憩時間をお願いします。

質問内容は、「問い合わせ書」に記入して提出してください。後日ご返答いたします。

※「問い合わせ書」→沖縄県理学療法士協会ホームページ(会員の方のみ)

## 教育学術局便り(研究支援部)

# あなたの研究発表がキャリアアップへ繋がる!!

教育学術局研究支援部では、『平成25年度 理学療法沖縄』への投稿論文を募集しております!!

当学術誌に論文投稿することで次のようなメリットがあります。

### ■ 専門及び認定理学療法士資格取得の“履修ポイント加算”も認められています!!

当県士会学術誌に論文掲載されることで、日本理学療法士会が定める専門及び認定理学療法士資格取得および更新に関わる履修ポイントとして、筆頭演者は40ポイント、共同演者も5ポイントが認められています。あなたの目指す専門資格を取得する一助にすることもできます!!

### ■ “論文検索”するとあなたの論文がヒットするようになります!!

当県士会の学術誌は国際標準逐次刊行物番号 (ISSN) にて規格化され、登録しています。国立国会図書館、J-grobal、医中誌などにも登録、保管されています。国際的にも認められている学術誌です。

【ISSN 1881-4719】

### ■ 研究に対する疑問・質問に対する “サポート” もあります!!

当学術誌に投稿するにあたって、研究デザインや統計的な検討点、その他、疑問点などがありましたら、沖縄県理学療法士会 教育学術局 研究支援部にてサポートしております。些細な点でもどうぞお気軽にご相談ください。

### ■ 何より一番自分自身の “力” になります!!

論文を作成する過程において、周辺知識を調べたり、共著者とのディスカッションを通して自分自身の知識の整理となり、振り返ってみるとそれが理学療法士としての底力になっていくと考えています。

理学療法士が急増する現状や情報が飛び交う今だからこそ、自分自身のアイデンティティを模索しませんか??

**どんな些細なことでもお気軽にお問い合わせ下さい。**

**会員の皆さまの投稿をお待ちしております!!**

## 沖縄臨床理学療法研究会 開催

### 【研究会開催の趣意】

沖縄県理学療法士協会の会員数は1300名を超え、県内における理学療法も多種多様化してきました。「臨床における理学療法」について、理学療法士が率直に議論を重ね、理論と技術の向上を図るために努力することは、意義深く、理学療法士に対する社会の要請であると存じます。本研究会の目的は、臨床における理学療法の理論と技術についての研究を推進し、対象となる県民の保健・医療・福祉に寄与することにあります。そのためには、臨床における理学療法について理学療法士が情報を交換し、討議する場を提供することが重要です。

研究会開催の趣意にご賛同いただき、皆様のご理解とご支援、並びにご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(教育学術局長 古堅貞則)



### <問い合わせ先>

研究支援部 部長 島袋雄樹  
副部長 砂川元

E-mail : oki\_pt\_kenkyuusien@yahoo.co.jp

TEL : 098-982-1761

## 第1回研究会テーマ「歩行のみかた」

### 【研究会の概要】

今回の研究会は、グループに分かれ受講者が自主的に参加できるワークショップで進行する予定です。実際に事例の「歩行VTR」を供覧し、①歩行の観察ポイント、②観察を基にした推論方法、③推論から導かれる評価等についてグループでディスカッション後、発表を通して情報を共有します。最後に、事例提供者より、①～③について解説して頂きます。今回の事例は、脳血管障害と運動器疾患の2事例についてディスカッションしたいと考えています。臨床に役立つアイデアが飛び交う有意義な時間が過ごせるよう努めたいと思います。有志ある理学療法士の参加をお待ちしております！

日時：平成25年10月13日（日曜）受付9：00～、開会9：30～12：30  
会場：沖縄リハビリテーション福祉学院（2階教室）  
対象：理学療法士および医療従事者  
会費：会員1,000円、非会員2,000円  
申込先：[opta.labo@gmail.com](mailto:opta.labo@gmail.com)  
件名：第1回研究会申込、①会員番号、②氏名、③所属先、④経験年数  
〆切：平成25年10月10日（木）迄  
定員：40名（応募者多数の場合は、抽選となります。）  
問合せ先：沖縄県理学療法士協会 教育学術局（担当：古堅貞則）  
☎098-945-8101（与那原中央病院リハビリテーション科）

## 沖縄県理学療法士協会 主催 研修・講習会

### 通所リハ情報交換会のお知らせ

テーマ: ケーススタディ

内容: 10月の通所リハ情報交換会では「ケーススタディ」を実施します。通所リハ推進部として実施するのは初の試みです。

- ①「万全ではなかった利用者に対する安全対策」
- ②「階段昇降機を導入した事例」
- ③「脳卒中片麻痺の利用者、ゴルフ活動再獲得に向けての歩み」
- ④「重度四肢麻痺の方に対する本人・家族支援～在宅生活が円滑になった事例～」

4つの事例を予定しています。通所リハに興味のある方、実務されている方の多数のご参加をお待ちしております。

日時: 平成25年10月8日（火） 19:00～21:00 場所: 宜野湾記念病院 リハビリ室(7階)

主催: 沖縄県理学療法士協会 通所リハ推進部 参加費: 無料

### 【申し込み方法】

下記の内容を記載の上、メールにてお申し込みください。

- ①氏名 ②所属先 ③職種 ④臨床経験年数 ⑤通所リハビリ経験年数 ⑥会員or非会員

申し込み先: [oki.tsyuushoriha@gmail.com](mailto:oki.tsyuushoriha@gmail.com)

※今回より申し込み先アドレスを変更していますので、注意してください！！

問い合わせ先: 宜野湾記念病院 理学療法士 松並健治宛 TEL: 098(893)2101

締め切り: 平成25年10月8日（火）午前中

\* 当日お聞きしたい質問等があれば事前申し込みの際に記載してください。

## 他団体主催 研修・講習会

### 第5JPNFA全国セミナーin沖縄のお知らせ

主催: NPO法人日本PNF協会共催: 沖縄PNF勉強会

日時: 平成25年 10月 13日(日) 8時30分受付開始 9時～16時

\* 9時から10時まではPNFの基本的説明を行います。

\* 10時よりテーマに合わせたセミナーとなりますので、以前にもセミナーなどに

参加されており、基本的説明は不要な方は10時より参加可能ですが、受講をお勧めします。

会場: 介護老人保健施設パークヒル天久

講師: 遊佐 隆 先生 (松戸整形外科病院) 国際PNF協会認定セラピスト NPO法人日本PNF協会 副理事長

内容(予定): 「腰痛に対するPNFアプローチ」

- ・腰部の解剖や運動学を学ぶ・PNFコンセプトを用いた腰痛に対する Motor Control(運動制御)の理論と実践

・腰痛に対するPNFアプローチの実技を行う

参加費：JPNFA会員 5,000円 非会員 7,000円

参加資格：理学療法士・作業療法士・医師

定員：各会場35名 (定員に達し次第申し込みを締め切ります※残り10名)

申し込み：日本PNF協会地域振興部沖縄事務局 担当：儀間 敬人 [jpnfa.okinawa@jpnfa.jp](mailto:jpnfa.okinawa@jpnfa.jp)

日本PNF協会会員番号(非会員の方は「非会員」), 氏名, 職種, 所属, 連絡先を明記してください  
会場へのアクセスなど詳細はHPをご参照ください。 <http://www.jpnfa.jp>

問い合わせ：日本PNF協会地域振興部E-mail: [jpnfa-chiiki@jpnfa.jp](mailto:jpnfa-chiiki@jpnfa.jp)

### 沖縄物理医学研究会研修会のご案内

【主催】沖縄物理医学研究会

【日時】平成25年12月14日(土)9:30~16:30(9:00受付開始)12月15日(日)9:00~12:30(8:30受付開始)

【場所】沖縄リハビリテーション福祉学院 6F

【内容】「運動療法(予定)とSJF技術」

障害に対する考え方(講義)、治療的検査法、関節内運動機能障害に対する治療技術

「関節ファシリテーション(SJF)技術」

呼吸障害、拘縮治療に対する技術、臨床におけるSJF使用方法の紹介を講義と実技を合わせて行います。

※今回は、補助講師として学会理事、支部長、総勢27名が参加します。臨床で治療効果が出せず悩んでいる方、SJF技術に対して懐疑的な方、是非一度SJF技術を体験し、見て下さい。臨床で問題解決の糸口になるかもしれません。関節とついていますがこの技術は全ての障害に使用できる技術になります。

【講師】主講師：宇都宮 初夫先生(JM研究所 所長 SJF学会理事長)

補助講師：SJF学会理事、各支部支部長

【受講料】SJF会員5000円、非会員6000円(土)のみ4000円、(日)のみ3000円

【問い合わせ】沖縄PM研究会事務局 北城整形外科 PT 渡久地 TEL(098)930-7777

【申し込み】[okinawapmr@yahoo.co.jp](mailto:okinawapmr@yahoo.co.jp) まで以下の項目を入力しお申し込み下さい。3日以内に返信を行います。迷惑メールに入ることもありますのでご確認下さい。①氏名②性別③施設名④職種⑤免許取得年⑥常時連絡が取れる番号(携帯番号)⑦懇親会参加の有無

### 『第22回 沖縄呼吸ケアセミナー』

※3学会合同呼吸療法認定士の認定更新点数12.5点が取得できるセミナーです。

※日本理学療法士協会認定内部障害認定理学療法士(呼吸)5点も取得できます。

開催日:2013年11月9日(土)9:20~17:20(受付9:20~)

会場:沖縄産業支援センター(沖縄県那覇市小禄1831番地1)

開催:特定非営利活動法人沖縄呼吸ケア研究会

受講料:5,500円(手数料別途がかかります) 定員:180名

内容:「人工呼吸器トラブルシューティング」,「人工呼吸器装着中の回腔ケア」,「動脈血液ガス検査のとらえ方」,「立体的に考える人工呼吸管理中のケア」,「ARDSの最新治療戦略と呼吸管理」

※内容は予告なく変更する可能性があります。ご了承ください。

特別講師 名古屋大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野 教授 松田 直之ほか

[お申込み方法]

2013年10月9日から「e+(イープラス)」ホームページ,コンビニエンスストアのマルチメディア端末「Famiポート」,「Loppi」でチケットを販売いたします。なお定員になり次第,販売は終了となります。電話等によるお申し込み受付は行っておりません。

お問い合わせ

特定非営利活動法人沖縄呼吸ケア研究会

ホームページ <http://plaza.umin.ac.jp/~orc55/> E-mail: [orc55@yahoo.co.jp](mailto:orc55@yahoo.co.jp)

緊急お問い合わせ(セミナー担当:宮平)E-mail [goodfellow1209@yahoo.co.jp](mailto:goodfellow1209@yahoo.co.jp) 携帯電話番号 090-5723-2438

### 平成25年度成人片麻痺における環境適応講習会<in 沖縄>

日時:平成26年2月21日 19:00~21:00、2月22日 9:00~18:00、2月23日 9:00~18:00

テーマ:『Activity(講義&実技)』

講師:柏塾 塾長 作業療法士 柏木 正好

介護老人保健施設舞風台 作業療法士 永田 誠一

大浜第二病院 作業療法士 新里 順治

会場:大浜第二病院 ふれあいホール・理学療法室(沖縄県豊見城市字渡嘉敷150)

主催:環境適応講習会

対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 ※必ず3日間受講できる方のみお申し込み下さい。  
定員：100名 内容：講義、実技、デモンストレーション  
参加費：12,000円（振込手数料、懇親会費・弁当代別）※振込先は受講可否決定時にご連絡致します。  
懇親会：2日目終了後に懇親会を予定しております。是非ご参加下さい。  
申込方法：パソコンからのE-mailより、以下の内容を明記の上ご送信下さい。

1. 施設名、2. 施設住所、3. 電話番号、4. 氏名、5. 職種、6. 経験年数、7. 環境適応講習会受講の有無、  
8. Bobathコース受講の有無、9. 懇親会参加、10. メールアドレス、11. 昼食希望  
※詳しくは、環境適応講習会ホームページ <http://www.kanteki.net/> をご覧下さい。

申込締切：平成25年12月中旬

問い合わせ・申し込み先：

沖縄環境適応講習会 事務局okinawa@kanteki.net (@は半角@に直してご送信下さい。)

〒901-0215 沖縄県豊見城市宇渡嘉敷150

TEL098-851-0102 介護老人保健施設 はまゆう リハビリテーション科：渡慶次裕治

### 【Updraft physio 主催セミナー】

テーマ：脳卒中患者の動きのコツを引き出すセラピスト力

日時：平成25年11月3日(日) 10時～16時(受付9:30) 会場：沖縄リハビリテーションセンター病院  
8階カンファレンス室

講師：生野 達也 先生(動きのコツ研究所) 理学療法士 認知運動療法士

内容：個々に合わせたオーダーメイドな動きのコツの導き方を学ぶことを目的としています。実技、デモンストレーションを多く取り入れた、より臨床につながる内容となっております。

受講費：4500円 定員：40名 (先着順 定員に達し次第締切)

申込：件名「脳卒中動きのコツ」とし、①氏名、②所属先、③連絡先(PCメールアドレス)を明記の上、下記Eメールアドレスまでご送信ください。

問い合わせ：沖縄リハビリテーションセンター病院 理学療法士 比嘉俊文

【E-mail】updraft\_seminar@yahoo.co.jp

## 広報部便り

本誌へ研修会案内の掲載をご希望の場合は、当会HPより「広報誌掲載申込書」をダウンロードし、申込書へ必要事項を記入後、当協会事務局まで郵送して頂きますようお願いいたします。尚、掲載の可否については当会の事業目的に照らし、判断いたします。尚、毎月10日締切で翌月号への掲載となります。

[沖縄県理学療法士協会HP:<http://www.oki-pt.jp>]

★掲載内容は概ね300字を目安としています。これまで掲載されていた研修も文書の発行をお願い致します。

【研修案内に関する問い合わせ】

沖縄県理学療法士協会事務局

098-930-5023(月～金曜日9:00～18:00 担当：比嘉)

[optaoffice@yahoo.co.jp](mailto:optaoffice@yahoo.co.jp)

## 理学療法士募集 (業務拡張の為)

募集人員：若干名

待遇：正社員(試用期間3ヶ月)

勤務時間：午前8時30分～午後5時30分  
午前9時00分～午後18時00分

休日：年間109日(日曜他1日休み)  
(シフト制)

給与：年俸制(2,580,000円～3,640,000円)

待遇：各種社会保険完備  
無料駐車場完備  
交通費別途支給(上限あり)

応募方法：電話にて御連絡下さい。施設案内、面接日を調整いたします。  
(担当：総務・喜友名まで)

## コザクリニック

沖縄県沖縄市仲宗根町19-1

TEL:098-938-1038